

自分のなかにある新しい自分を見つける

4月25日(木)から新型コロナウイルス感染拡大に伴う3度目の緊急事態宣言が東京・大阪・京都・兵庫の4都府県に発出されました。また県内の感染者も増加の傾向にあります。お互いに油断せずに感染防止に努めていきましょう。始業式・入学式から3週間が経過しました。1年生は少しずつ中学校生活に慣れてきたようです。4月23日は1年生の部活動への入部届の提出締め切りでした。毎日の学校生活の中では、全校生徒が元気に頑張っている様子が多くの場面で見られます。毎朝、朝読書から一日がはじまり、集中して授業に取り組んでいます。放課後は、3年生のリーダーシップのもと、間近に迫った支部選手権大会や交流試合等のためにということもありますが、部活動に熱心に取り組んでいる姿が見られます。

さて、中学校時代は年齢的にも激動の時だと言われています。文豪のゲーテは、それを『疾風怒濤』(しっぷうどう)という言葉で表現しています。中学生は無限の可能性を持っているとも言われています。しかし、その言葉はよい可能性だけを意味しているものではありません。その逆の可能性も含んでいるとも言われています。今の中学校時代をどう生きるかは今後の人生にも大きな影響を与えます。だからこそ、玉幡中学校の全校生徒にとって、今このときは、一生を左右しかねない大切な岐路と言えます。中学校生活では、社会で生きて行くための土台を本気になって築かなければならない大切な時期なのです。そんな大切なときだからこそ、みなさんには「1年後の自分像」を見据えて生活を考えてほしいと願っています。

中学校で君たちがやることは

「自分のなか」にある「自分の知らない自分」を見つけていくことなんだ

さわやかなあいさつができる自分

「ハイッ!」としっかり返事ができる自分

その返事に心をこめることができる自分

宿題をやりぬける自分

授業に集中し、頑張ることができる自分

清掃にしっかりと取り組める自分

自己を見つめ、毎日の生活記録ノートにしっかりと書いて提出できる自分

夢や目標に向かって前進する自分

君のなかにもきっとあるにちがいない

そんな自分を見つけていくんだ

たった一度しかない中学校生活、縁あって出会いがあり、この一年を共に過ごすことになった先生方や仲間と新しい環境・教室で、自分を大きく変えてみませんか。自分を変える・・・、つまり成長すること。そして自分のなかにある新しい自分を見つけるということ。今日も授業や清掃などに取り組むみなさんの姿は立派でした。大きく成長するみなさんは、全員が可能性の塊です。



いずれも3年生です。授業風景(集中しています)としっかり取り組んでいる清掃の様子です。

“朝読書”について

本校では朝の8:25~8:35まで10分間の朝読書を全校で行っています。毎朝、どの学級でも静かに朝読書から学校生活がスタートします。本当に素晴らしい取組だと思えます。読書活動は、子どもが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことができないものです。山梨日日新聞（2018.6/18付）にも『読書や生活習慣で子どもの成績向上』という記事がありました。なぜ「読書」が必要なのかについて、次のような文章を見つけました。紹介したいと思います。

「自分を育てる力」を読書でつける

大塚笑子（朝の読書推進協議会理事長）

「私は子供の頃から陸上が得意で、中学生の時には三種競技で全国4位になりました。将来のオリンピック候補とテレビでもチャホヤと持ち上げられていたんです。ところが、高校時代、練習で股関節を外す怪我をしてからというもの、鳴かず飛ばずの状態になってしまいました。期待されていただけに落ち込みも激しく、死にたいな、生きているのが辛いなどとそればかりを考えて生きる毎日でした。実際、胃潰瘍（いはいよう）で3か月入院したこともあります。

そういう時、兄が病院に見舞いに来て、宮澤賢治の詩集と石川啄木の歌集を置いていってくれました。賢治が死にゆく妹の姿を綴った『永訣の朝』の詩と、啄木の『死ぬことを持葉をのむがごとくにも我はおもへり心いためば』の歌に触れた時、それまで死にたいと思っていた私が、『世の中にはもっと大変な人がいる』と気づかされたんです。窮地から這い上がることができたのは、そこからですね

自らも読書で人生が変わったと語られている大塚さん。お兄さんからの「本は暇な時に読むものではない。苦しい時にこそ読むんだ。自分で自分を高めなくて誰が高めてくれる」という言葉も、深く心にとどめてくれたそうです。

「私が好んで読んできたのは、山岡荘八や山本周五郎、杉本苑子の歴史小説でした。徳川家康などの主人公の生き方もそうですが、その当時、必死で生きてきた女性たちに思いを馳せ、『この人たちにできて私にできないはずがない』と自身を奮い立たせてきたんです。人生というのは何が起きても自分で立ち上がるしかありません。本は私にその力を与えてくれました」（『致知』2018年10月号 特集「人生の法則」より一部抜粋）



1年生



2年生



3年生

今年度のPTA活動について

4月21日（水）に今年度の第1回PTA役員会を開催させていただきました。校長室には新旧の正副会長さん方にお越しいただき、今年度のPTA活動について検討を行い、一昨年までとは違う形で、また昨年とも違う形ではありますが、スタートしていくことを確認させていただきました。（感染状況を注視しながら進めていきたいと考えています）また、その後体育館でPTA役員会の全体会を、さらに各学年部会、地区部会、研修部会、広報部会、地区部会、本会役員会も開催させていただきました、それぞれの代表の方々のご決定や年間の運営方針、計画について審議をしていただきました。お忙しい中お集まりいただき、ありがとうございました。

新型コロナウイルス感染拡大防止のために、予定していたPTA総会や学年部会については紙上提案とさせていただきます。5月6日（木）については、授業参観は行い、PTA総会、学年部会を開催する代わりに、短時間で教職員との顔合わせをさせていただきたいと思えます。感染予防対策等にご協力いただき、来校をお願いいたします。

